## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 4年 6月 30日

兵庫県知事 殿

提出者 住 所

兵庫県加古川市金沢町7番地

氏 名 (法人にあっては名称及び代表者氏名) 関西熱化学株式会社 加古川工場 常務取締役工場長 稲益 裕修

電話番号 079-436-1525

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 3 年度の 産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

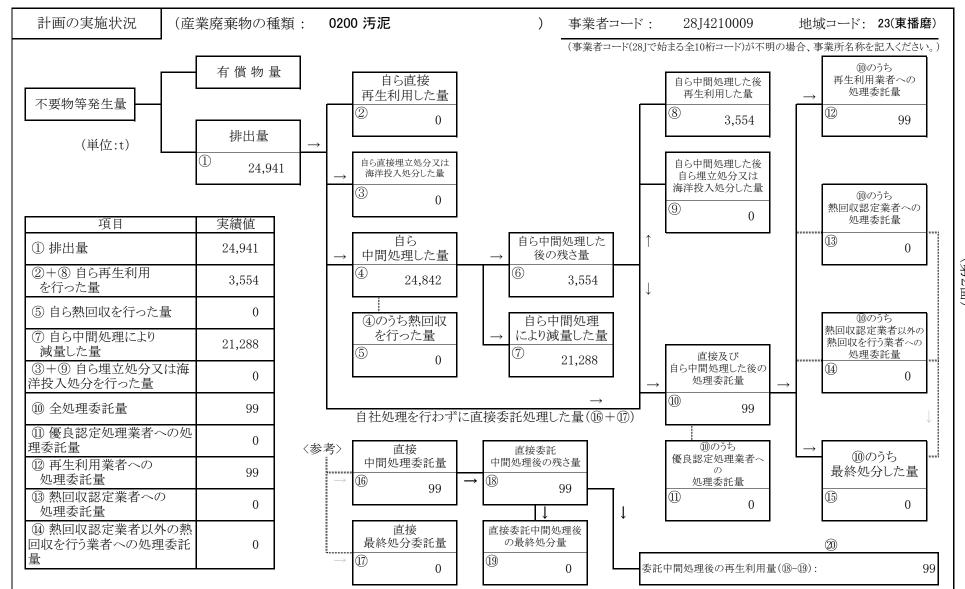
事業場の名称	関西熱化学株式会社 加古川工場
事業場の所在地	兵庫県加古川市金沢町7番地
事業の種類	1731 コークス製造業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和3年4月1日~令和4年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

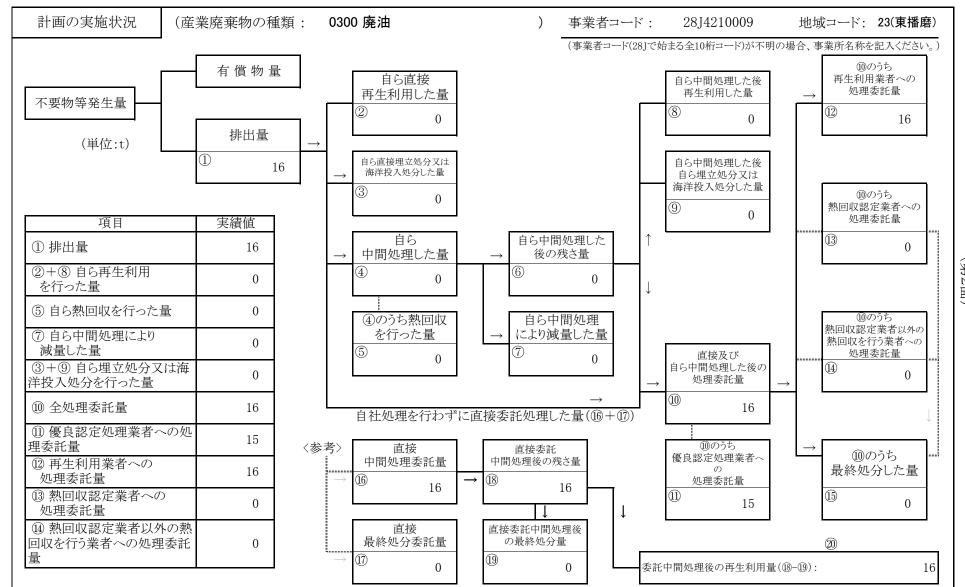
庄术先来的人 <b>在</b> 们自己的自体框				
項目	目標値	項目	目標値	
排出量	25,370 t	全処理委託量	5,370 t	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	3,500 t	優良認定処理業者への 処理委託量	3,720 t	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	4,745 t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	16,500 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
※事務処理欄				

(日本工業規格 A列4番)

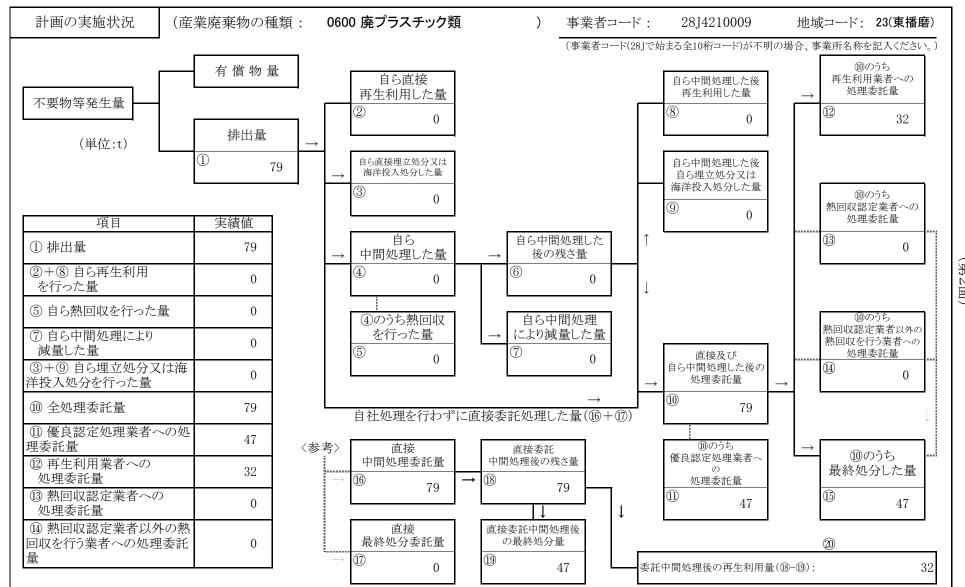




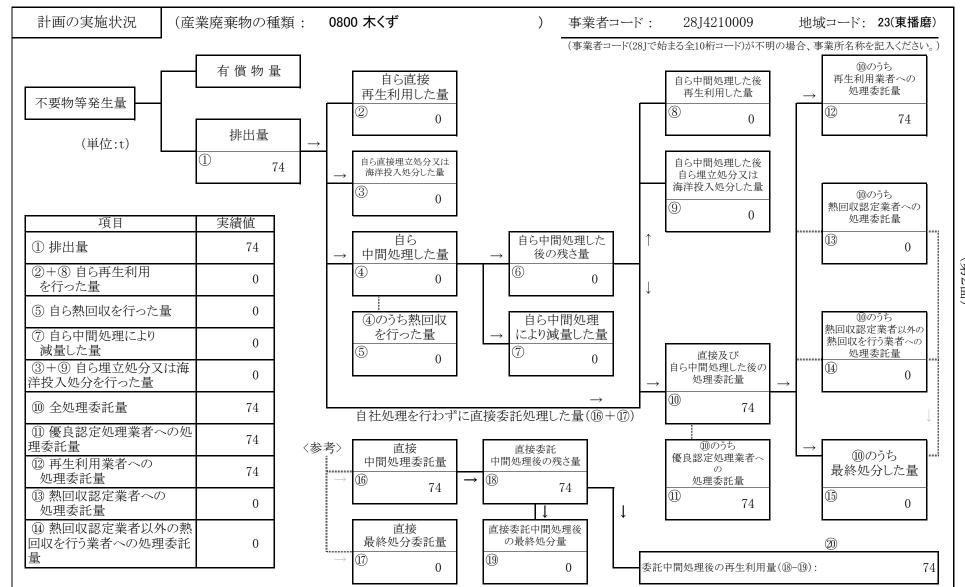




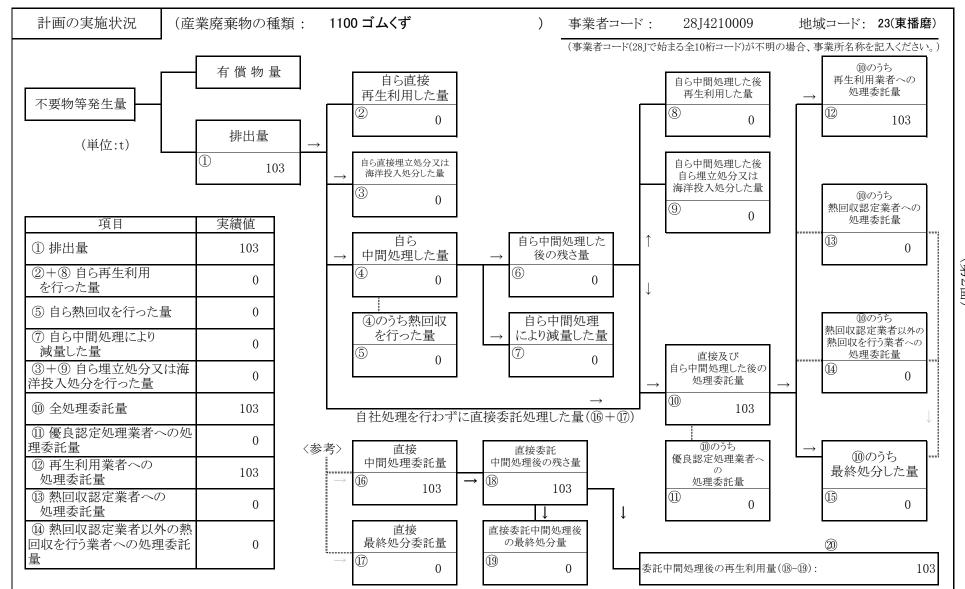




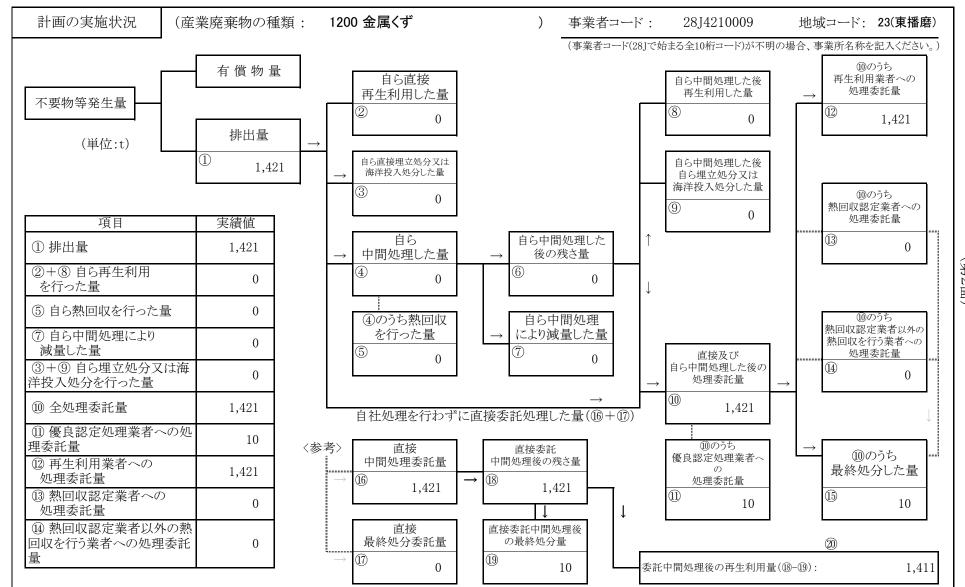




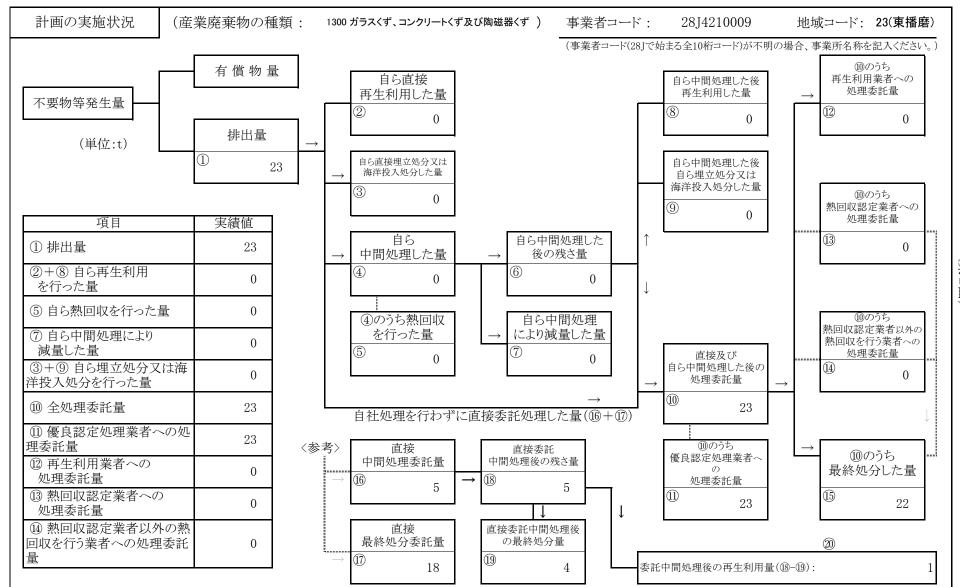




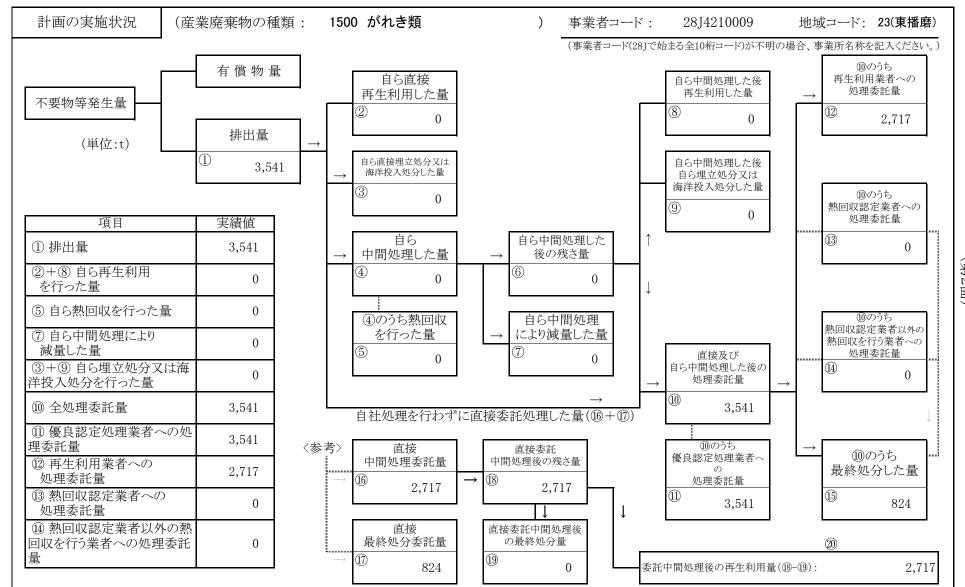




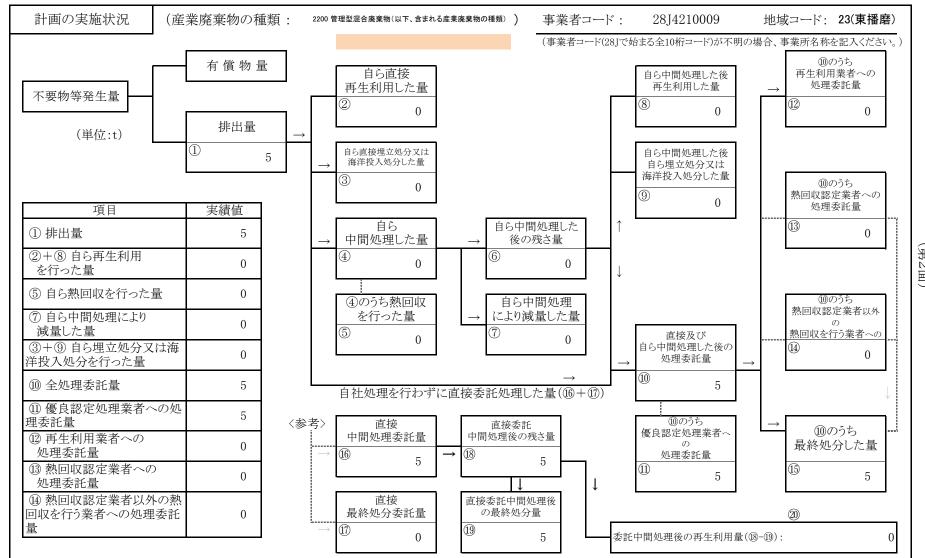












## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した 目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) (7)欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。